

令和5年度第1回三条市地域公共交通協議会（書面協議） 協議結果

1 協議過程

協議期間 令和5年5月31日（水）～令和5年6月7日（水）
合意に至った日 令和5年6月8日（木）

2 議事内容

(1) 報告事項

- ア デマンド交通ひめさゆり停留所の移設及び名称変更について
⇒ 異議なし
- イ 令和4年度の三条市地域公共交通利用状況について
⇒ 異議なし
- ウ 三条市地域公共交通網形成計画令和4年度実施状況について
⇒ 異議なし
- エ AI オンデマンド交通実装運行計画(案)について
⇒ 異議なし

(2) 協議事項

- ア 令和4年度三条市地域公共交通協議会歳入歳出決算(案)について
⇒ 異議なし
- イ 令和5年度三条市地域公共交通協議会歳入歳出予算(案)について
⇒ 異議なし
- ウ 令和6年度生活交通確保維持改善計画(案)について
⇒ 異議なし

3 意見等及び回答

別紙のとおり

第1回三条市地域公共交通協議会(書面協議)議事内容 意見等に対する回答

【委員送付用】

No.	議事内容	意見等	事務局回答
1	(1)報告事項 ア デマンド交通停留所の名称変更について	停留所の名称変更については、当該事業所の名称変更、閉鎖等によるものであり、適切な対応とを考えます。	御意見ありがとうございます。
2	(2)報告事項 イ 令和4年度三条市地域公共交通利用状況について	デマンドひめさゆりの利用状況については回復傾向もあるが、新型コロナウイルス感染症以前まで戻っていない。公共交通以外の個人の活動は戻ってきている。ひめさゆり、ライナーバス、井栗コミュニティバスなど、広報、自治会、学校でのチラシなど今一度丁寧な説明などで利用度合い向上をはかっていただきたい。	引き続き公共交通の利用にかかる広報・周知に取り組んでまいります。
3	(3)報告事項 ウ 三条市地域公共交通網形成計画令和4年度実施状況について	・No.2 多用者の負担軽減 後発の自治体と比較して、複数乗車度合いが若干低い。予約システムの利便性や複数乗車者へ負担額等のさらなる軽減策などの取り組みも必要。 ・No.5 デマンド交通出張講座 各種町内会(自治会役員会・総会など)、まちづくりイベントなどで出前講座を積極的に開催し認知度向上をはかり利用に繋げる。 ・期間限定(1~2ヶ月程度)お試し利用(安価料金設定)などを設け、まずは1回利用してもらうなどの取り組みも必要。	・AIオンデマンド交通システムの導入を通じて、予約システムの利便性を図るとともに、それに伴うおでかけバスの割引制度のあり方についても検討してまいります。 ・引き続き出前講座等の機会を捉えた広報・周知に努めてまいります。 ・AIオンデマンド交通システムの導入時などの機会を捉えたキャンペーンの実施について検討してまいります。
4	(4)協議事項 エ AIオンデマンド交通実装運行計画(案)について	AIオンデマンド交通とひめさゆりとの関係がよく分かりません	今年度は、デマンド交通ひめさゆりの一部エリアにAIオンデマンド交通システムを導入し、既存の制度との親和性等を確認するとともに、利用者の意見を聞き、今後の参考にします。
5	(4)報告事項 エ AIオンデマンド交通実装運行計画(案)について	市街地エリア限定と言えども広範囲に渡る為、現状のデマンドに比べて不便さを感じると思います。(希望の時間に乗車出来ない)リアルタイムで乗合率の上昇を狙うには台数増加が必要だと思います。	他先進自治体での運行エリアや人口規模を踏まえ、今年度は4台体制での運行を計画したものです。次年度以降の車両台数につきましては、今年度の1台当たりの乗車人数の結果を踏まえて検討できればと考えております。
6	(4)報告事項 エ AIオンデマンド交通実装運行計画(案)について	これまでのデマンドとR5年度のAIデマンドは、利用者にとって、何が優れているのか、期待される効果など、出張講座 各種町内会(自治会役員会・総会など)、まちづくりイベントなどで出前講座を積極的に開催し、「AI導入により、利用しやすく、安価にもなる」などと受け止めて貰えるように工夫していただきたい。 AIの利便性など大きくアピールし、AI方式はわからない、関心が無いなど「食わず嫌い」対策を講じられたい。	8月中に市の広報誌とともに市内全戸に案内チラシを配布するとともに、出前講座や説明会等の機会を捉え、丁寧に説明・周知に努めてまいります。
7	(6)協議事項 イ 令和5年度三条市地域公共交通協議会歳入歳出予算(案)について	当県では、令和5年度の貴協議会の事業に対して、以下の補助金や負担金を予算計上しておりますが、これらは歳入の三条市負担金:101,869,000円に含まれているのでしょうか？ 【令和5年度県予算】 ・AIオンデマンド交通実証 地域の移動手段確保支援事業費補助金:4,000千円 ・下田MaaS実証 地域交通資源の有効活用に関する調査・実証事業:上限5,000千円 ・待合環境整備 地域の移動手段確保支援事業費補助金:1,518千円	AIオンデマンド交通実証と待合環境整備につきましては、市予算の歳入として計上していることから、お見込みのとおり三条市負担金に含まれておりますが、下田MaaS実証にかかる負担金につきましては、当該事業が協議会への負担事業であり、現時点で運行内容を検討中であることから、協議会歳入には計上しておりません。事業負担の決定後、協議会歳入に計上してまいります。
8	(7)協議事項 ウ 令和6年度生活交通確保維持改善計画(案)について	福沢線の平均利用者数 2人以上/日(一人の1往復)を公共交通で維持する必要があるか疑問が残ります	ご指摘を踏まえ、今後の当該路線のあり方の検討の参考にいたします。
9	その他	・冬期間の乗降性の向上(除雪などの徹底) ・定期制バス 子育て世代・75歳以上など生活応援、支援バスなどの導入の可能性の検討など	・降雪状況に応じて除雪要望を適切に行うよう努めてまいります。 ・AIオンデマンド交通システムの導入に伴うおでかけバスの割引制度のあり方について検討してまいります。